

理学院アドミッション・ポリシー【博士後期課程】

数学、物理学、化学、生物学、地球科学などの基礎科目と関連する専門科目を履修し、より専門的で高度な学術研究に従事していくために必要な各専門分野に関する十分な知識と技能を有し、自然の摂理解明に意欲を持って自主的に研究する能力・素質・適性等を有すること。

・入学者選抜の基本方針（多角的な評価方法）

【一般選抜】

筆記試験、口頭試問等を各専攻・分野に応じて実施する。筆記試験においては、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」の評価を特に重視して行う。また、口頭試問等においては、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」、「理解力」、「課題発見力」、「関心・意欲」の評価を特に重視して行う。併せて、入学後の研究計画書、成績証明書等出願書類により、これらの資質を補完して、入学者を総合的に評価して選抜する。

【社会人特別選抜】

筆記試験、口頭試問等を各専攻・分野に応じて実施する。筆記試験においては、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」の評価を特に重視して行う。また、口頭試問等においては、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」、「理解力」、「課題発見力」、「関心・意欲」の評価を特に重視して行う。併せて、入学後の研究計画書、成績証明書等出願書類により、これらの資質を補完して、入学者を総合的に評価して選抜する。

なお、社会人特別選抜においては、専門科目及び外国語の学力審査に代えて、社会における研究の成果等に対する審査（試問等）によって学力を判定することがあり、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」、「課題発見力」、「関心・意欲」の評価を特に重視して行う。

【外国人留学生特別選抜】

口頭試問等により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」、「理解力」、「課題発見力」、「関心・意欲」を特に重視して評価を行う。併せて、入学後の研究計画書、成績証明書等出願書類により、これらの資質を補完して、入学者を総合的に評価して選抜する。

・入学者選抜の基本方針（評価方法の比重）

【博士後期課程】

入試区分	評価方法等 (筆記試験、口頭試問等を各専攻・分野に応じて実施する。)	学力の3要素			理解力	課題 解決力	関心・ 意欲	教養
		知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度				
一般選抜	筆記試験	◎	◎		○			
	口頭試問等 ※2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
	入学後の研究計画書、 成績証明書等出願書類	総合的に判断する要素						
社会人特別選抜	筆記試験	◎	◎		○			
	社会における研究の成果等に対する審査（試問等） ※「専門科目及び外国語の学力」に代えて評価するもの。	◎	◎	◎	○	◎	◎	
	口頭試問等 ※2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
	入学後の研究計画書、 成績証明書等出願書類	総合的に判断する要素						
外国人留学生 特別選抜	口頭試問等 ※1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
	入学後の研究計画書、 成績証明書等出願書類	総合的に判断する要素						

※1：Web会議システム等により試問を行う。

※2：修士の学位論文又はこれに代わるものの審査（試問等）を行う。また、各専攻・分野に応じて専門科目及び外国語の学力の学力審査を含む場合がある。

(注) ◎は特に重視する要素を、○は重視する要素を指す。